薬学科

令和８年４月公表

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

武庫川女子大学薬学部薬学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って196単位以上を修得し、「MUKOGAWA COMPASS」に基づく、以下に示すような高度な専門知識と臨床能力、および、医療をはじめとする多様な分野で社会貢献できる資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（薬学）の学位を授与します。

武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目			MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目	
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	生きる力の源となり、多様化・複雑化する社会を理解するための豊かな教養とデジタル社会における基盤的リテラシーを身につけている。
知識	2	“生きること”につながる専門性	2-1	薬剤師に求められる専門性を発揮するための科学的根幹となる基礎薬学の知識を修得している。
知識	2	“生きること”につながる専門性	2-2	責任ある薬物治療を実践するための基盤となる医療薬学、薬物治療の個別最適化を実践するための臨床薬学に関する知識を修得している。
知識	2	“生きること”につながる専門性	2-3	健康の維持・増進と環境衛生に貢献するために必要な衛生薬学の知識を修得している。
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3-1	生命の尊厳に関する深い認識をもち、薬剤師としての法的責任を理解し、使命感と責任感、患者・生活者の権利を尊重する倫理観を備えている。
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3-2	患者・生活者の立場と置かれた状況を把握し、医療人として利他的な態度で他者を尊重する姿勢を備えている。
姿勢	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	医療・福祉・公衆衛生における課題を見出し、解決するための科学的な視点と失敗を恐れず挑戦する姿勢を備えている。
姿勢	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	進歩する医療や科学について、自己および他者と共に研鑽しながら生涯にわたり学び続ける意欲と姿勢を備えている。
行動	6	論理的に考え伝える力	6	的確な医薬品の供給、状況に応じた調剤、服薬指導、患者中心の処方提案等を科学的根拠に基づいて実践する技能を備えている。
行動	7	新たな価値を創造する力	7	社会貢献とキャリア形成につながる基礎薬学的な科学技能を身につけ、新たな価値を創造する力を備えている。
行動	8	多様な人々と協働する力	8-1	患者・生活者、医療者と良好なコミュニケーションをとり、考えや発想が互いに共感できるような信頼関係を築く行動力を備えている。
行動	8	多様な人々と協働する力	8-2	多職種連携を構成する人々の役割を理解し、多様な人と協働して、患者・生活者中心の医療・福祉・公衆衛生を実践する行動力を備えている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

武庫川女子大学薬学部薬学科では、本学科の定めるディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。

知識

・1、2年次において、共通教育科目および基礎教育科目により、豊かな教養と情報リテラシーを含む基礎的科学力を養います。

・薬学に必要な基本的な科学知識・技能を養うための基礎薬学を理解した後、2、3年次において、基礎薬学に係る発展的内容を学習すると同時に、薬物治療の基盤となる医療薬学と健康の維持・増進と環境衛生に関わる衛生薬学を学びます。

・2年次から4年次にわたり、医療倫理と薬剤師に関わる社会の仕組みや法規制を繰り返し学び、地域における保健・医療・福祉での個人情報やデータの取扱い、地域連携などを学びます。

・基礎薬学および衛生薬学、医療薬学の学修に続き、臨床事前学習、５年次の病院および薬局での臨床実習、臨床実習後演習を通じて臨床薬学を学びます。

・4～6年次における卒業研究により、薬学知識の統合と、個々のキャリア形成を養うための知識や技術を身につけます。

姿勢

・1年次の早期臨床体験や3年次の臨床体験学習で、チーム医療における薬剤師の役割を体験する機会を通じ、薬剤師への志向と自他を尊重する姿勢の向上を図ります。

・2、3年次において、薬学基礎実習を通して、自己および他者と共に研鑽しながら生涯にわたり医療や科学を学び続ける意欲と姿勢を養います。

・早期臨床体験、臨床体験学習、臨床実習、臨床実習後演習を通じて、医療人としての使命感と責任感、倫理観を繰り返し養います。

・4～6年次の卒業研究により、倫理性と失敗を恐れず困難に対応して薬学的課題に取り組む姿勢、および、生涯に渡り学び続ける意欲と姿勢を養います。

行動

・1年次から3年次にわたり、薬学基礎実習と薬学基礎演習を通して、良好なコミュニケーションをとり、考えや発想が互いに共感できるような信頼関係を築く行動力を養います。

・全学年を通して、語学力および薬剤師に必要なコミュニケーション力と、医療における多職種連携を理解・実践するために必要な協調性を養います。

・早期臨床体験、臨床体験学習、臨床実習、臨床実習後演習を通じて、論理的に考えを伝え多様な人々と協働する力を繰り返し養います。

・4～6年次の卒業研究により、問題発見・解決能力、論理的な思考力、プレゼンテーション力を養います。

教育課程全般を通じて、通常の講義だけでなく、実習、双方向型授業、問題解決型演習といった教育手法を活用し、学生の理解を高めます。年度終了時に、客観試験と、自己評価を取り入れたパーソナルポートフォリオを用いて学修の達成度を振り返り、次年度の学習意欲に繋げます。

本教育課程の共通教育科目、基礎教育科目、基礎薬学科目、医療薬学科目、衛生薬学科目の講義科目については、論述試験、客観試験と課題レポートによって習熟度を評価します。臨床薬学科目以外の実習科目については、観察記録、レポート、成果物によって主に技能や態度を評価します。臨床薬学科目は、論述試験、客観試験、臨床に関する実地試験や観察記録によって評価します。卒業研究は、年度毎にポートフォリオによって達成度を評価し、卒業研究発表・論文作成をもって総括的評価を行います。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

武庫川女子大学薬学部薬学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受け入れます。

武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素	
知識	社会を理解し、薬学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。
知識	上記の学力として、医薬品や病態・薬物治療の理解を助ける化学または生物の学力を重視するが、数学、国語、英語の基礎学力も修得していることが望ましい。
知識	患者・生活者心理の理解の基本となる幅広い教養を有している。
姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
姿勢	将来、薬の専門家として、医療の発展に貢献したいという意欲を有している。
姿勢	医療人としての倫理観、思いやりと協調性、コミュニケーション能力を育くんで、健康・福祉に携わる者として社会貢献したいという意欲を有している。
行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。
行動	自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さを有している。
行動	科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけようとする意欲を有している。